

姫路赤十字病院「ふれあい看護体験」と「夏祭り」

～患者さんとのふれあい、看護への好奇心を満たして！～

7月26日(木)・27日(金)姫路赤十字病院で高校生を対象とした「ふれあい看護体験」を開催。近隣市町にある12校から48人の参加がありました。患者さんとのふれあいを通して、看護への理解や関心を深めてもらい、「看護師の仕事」のやりがいを知ってもらうために毎年開催しています。

白衣に着替えナースキャップをかぶった生徒の恥ずかしそうな表情が、病棟では緊張した表情に変わり、清拭、食事介助、新生児ケアなど、様々な体験をしました。患者さんとのコミュニケーションを深めていくうちに緊張もほぐれ、笑顔で話しているのが印象的でした。体験を終えた生徒には看護部長から修了証書が授与されました。

参加した生徒は、「看護師になりたいという思いがより一層強くなった。」「てきぱき働かされていてかっこいい。」「貴重な体験ができてよかった。」など、看護師の仕事への思いが強くなったように話していました。この体験とおして、看護師になる夢をもった生徒が「看護師」を身近に感じ、興味を深め、将来、赤十字病院で働く仲間になってくれることを期待します。



産まれたばかりの赤ちゃんに緊張 初めて触れる医療機器に真剣な眼差し

また、7月23日(月)、姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団の小児病棟訪問班が、同病院の小児病棟や院内保育所を訪問し、「夏祭り」を実施しました。

金魚すくいでは、学生たちが折り紙で金魚とボイを作り、子どもたちに水槽の中の金魚をすくってもらい、金魚をプレゼントしました。お面のコーナーでは、子どもたちと一緒に張り絵をしながら動物やキャラクターのオリジナルお面を作りました。絵本のコーナーでは、一緒に絵本を読んだり、学生に読んでもらったりしました。病室から出られない子どもたちには、学生の手作り風鈴と歌がプレゼントされました。

学生たちは、講義や実習の間に準備をして大変でしたが、楽しそうな子どもたちの笑顔と、「また来てね。」という言葉で、たくさん元気もらったようでした。



子どもたちと一緒にかわいいお面も作りました

講習のご案内 ～健康で安全な生活を送る知識と技術を～

夏の暑さによる疲れが出やすいのは、まだまだこれからです。自分自身の体調管理はしっかりできていますか？

安心して毎日を送るための健康管理や事故防止。もしもの時、病気やケガを手当するための正しい基礎知識と技術を身につけてみませんか。

日本赤十字社は、皆さまが健康で安全な生活を送るためのお手伝いができるよう、救急法等の講習の普及活動に努めています。

内容		開催日
救急法基礎講習		11月10日(土) 12月15日(土)
救急法救急員養成講習(2日間)		12月8日(土) 9日(日)
救急法基礎・救急員養成講習(セット講習 3日間)		11月11日(日) 17日(土) 18日(日) 12月22日(土) 23日(日) 24日(月・祝)
幼児安全法支援員養成講習(2日間)		平成25年 1月20日(日) 26日(土) 27日(日)
健康生活支援講習(3日間)		平成25年 2月14日(木) 21日(木) 28日(木)
科目別講習	健康生活支援講習	誰もが知っておきたい介護の基礎知識 10月27日(土) 10:00～12:00
	救急法	高齢者の健康管理と家庭内の事故防止と応急手当 10月27日(土) 13:00～15:00
	救急法	AEDを使用した一次救命処置 10月27日(土) 15:30～17:30

講習会場は日本赤十字社兵庫県支部です。
詳細及びその他の講習についてはホームページで。

www.hyogo.jrc.or.jp

赤十字 兵庫 検索

ひょうごの赤十字

2012 9月
SEPTEMBER

- 平成24年度第1回地区赤十字奉仕団委員長会
- 西播磨赤十字奉仕団研修大会
- 青少年赤十字夏季リーダーシップ・トレーニングセンター
- 赤十字救急法ミニ講習会 イオンモール伊丹昆陽
- 姫路赤十字病院「ふれあい看護体験」と「夏祭り」
- 講習のご案内

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号
TEL.(078)241-9889 FAX.(078)241-6990
<http://www.hyogo.jrc.or.jp/>



平成24年度第1回地区赤十字奉仕団委員長会



挨拶される北野委員長

7月27日(金)、ひょうご女性交流館(神戸市中央区)で「平成24年度第1回地区赤十字奉仕団委員長会」を開催しました。

この委員長会は年2回実施しており、今回は各地区奉仕団の委員長等34人と地区担当者24人、支部職員10人が出席。

北野美智子兵庫県赤十字奉仕団委員長の挨拶で始まり、平成23年度兵庫県支部事業報告のあと、平成24年度のモデル奉仕団の指定及び地域赤十字奉仕団員研修会等について協議をいただきました。

モデル奉仕団には、神戸市東灘区赤十字奉仕団、姫路市赤十字奉仕団、尼崎市赤十字奉仕団、淡路市赤十字奉仕団、加東市赤十字奉仕団が指定され、地域防災や高齢者・子育て支援に関する活動に取り組みます。

また、奉仕団員研修会は、県内5カ所(10/12多可備蓄庫2階研修室、10/17朝来市山東支所、10/19姫路職員福利センター、10/26兵庫県龍野庁舎、12/6兵庫県支部)を会場として開催することで了承されました。

西播磨赤十字奉仕団研修大会

～災害時、自分達で地域と地域住民を守るために～

8月17日(金)、赤穂市民総合体育館で「西播磨赤十字奉仕団研修大会」が開催されました。

この研修大会は、毎年、西播磨地域の赤十字奉仕団の持ち回りで開催しており、今年は赤穂市赤十字奉仕団の担当で行われ、各地域赤十字奉仕団の団員をはじめ、地域の消防団員や小学生などの約180人の皆さんが参加されました。

午前中は、屋外でワンタッチテントの設営訓練に続き、非常食のアルファ米の作り方を解説。数名の方に参加者を代表して実際にアルファ米を作ってもらい、昼食は参加者全員でカレーライスをいただきました。ワンタッチテントの設営方法やアルファ米の作り方の簡便さに驚きと興味を持たれた方も多く、スタッフに色々な質問をされていました。

午後からは、体育館での研修に移り、傷病者が発生したことを想定して、実習用人形を使っ、AEDを用いた心肺蘇生、担架や車椅子を使っの搬送訓練、災害時高齢者生活支援講習など、様々な訓練が行われました。

今回の研修の目的は、開催地域が海岸に近いことから、地域の住民が協力して、いかに安全かつ迅速に、津波から弱者や高齢者を避難させるかという技術と知識を身に付けること。参加者の皆さまは熱心に取り組み、たいへん有意義な研修となりました。



子どもたちも初めてのアルファ米に興味津津!



段差は衝撃がないように。

青少年赤十字夏季リーダーシップ・トレーニングセンター

～震災被災者支援で、わたしたちにできること～

8月6日(月)から8日(水)まで、明石市立少年自然の家で、県内の中学生と高校生10校42人と青少年赤十字指導者、神戸青年赤十字奉仕団員、姫路赤十字看護専門学校学生奉仕団員、支部職員のスタッフ30人が参加し、夏季リーダーシップ・トレーニングセンターを開催しました。

ワークショップでは、東日本大震災から約1年半経過した今、『震災被災者支援で私たちに何が出来るか』をテーマに、各グループで具体的な計画を立てました。今回は同時期に宮城県内でトレーニングセンターを実施している、宮城県立水産高等学校とのコラボが実現。互いに情報交換しながら進めて行き、現地の方々と遊んだり話したりする交流の場を持つことや、被災地の人たちの笑顔のために花や木を植えること、子どもたちに玩具を作るなど、現実的でより被災地のニーズにそった内容のものが、最終日の発表会で多く出ました。

フィールドワークは、それぞれのカリキュラムで学んだ赤十字事業・活動の知識や救急法等の技術を確認する内容で進められ、猛暑の中、脱落者もなく、メンバー同士協力しながらすべてのグループが関門を通過しました。

また、ボランティアサービスでは、メンバーがこの2泊3日を快適に過ごせるように、自ら身の回りのことに『気づき』『考え』『実行する』を実践し、自主性を養いました。

天候にも恵まれ、暑さにも負けない充実した3日間となりました。



みんなで考えた「被災者支援で私たちにできること」



傷病者発見!皆で協力して手当もスムーズに。

赤十字救急法ミニ講習会 イオンモール伊丹昆陽

～あなたにも救えるいのちがある!心肺蘇生とAEDの使い方～

8月4日(土)、イオンモール伊丹昆陽ショッピングセンターで「知っていれば安心!心肺蘇生とAEDの使い方」と題した救急法ミニ講習を開催しました。

連日の猛暑、この日も外は30℃を超えていたためか、涼しい店内には開店時から多くの買い物客の皆さんが訪れていました。午前10時のイベント開始直後から次々と講習に参加していただき、気がつけば順番待ちされる方も出てくるほどでした。

夏休みとあって子どもたちの参加も多く、自分から積極的に「やってみよう」と、練習用の人形の前に座り、指導にあたった職員の話に好奇心いっぱいの表情で聞き、「難しいなあ、これでいいかなあ」と考えながら一生懸命に人工呼吸や心臓マッサージに挑戦。また、広告を見て遠くから来られた方は「一度教えてもらいたかった。今日は来てよかった。」と、言ってくれました。

ほかに、東日本大震災での活動や日本赤十字社の事業紹介パネル、救援物資の展示や、救護服姿のAKB48の等身大パネルも目を引き、イベント終了時まで賑わいを見せました。

受講された方の中には熱心に質問される方も多く、96人もの幅広い年齢層の方々に参加していただき、この地域の皆さんの「いのちを守る」ことへの意識の高さをうかがうことができました。



心肺蘇生、AEDの使い方を熱心に体験 たくさんの方が参加



memo ワールド・ファースト・エイド・デー

世界中の人々に「ファースト・エイド」(救急法)を知ってもらうため、国際赤十字・赤新月社連盟は、毎年9月の第2土曜日を「ワールド・ファースト・エイド・デー」と定め、世界の赤十字社・赤新月社が救急法の普及活動を行っています。

今年は9月8日(土)。兵庫県支部では同日、イオンモール姫路大津で救急法ミニ講習会を開催します。イベントの様子は次号に掲載いたします。